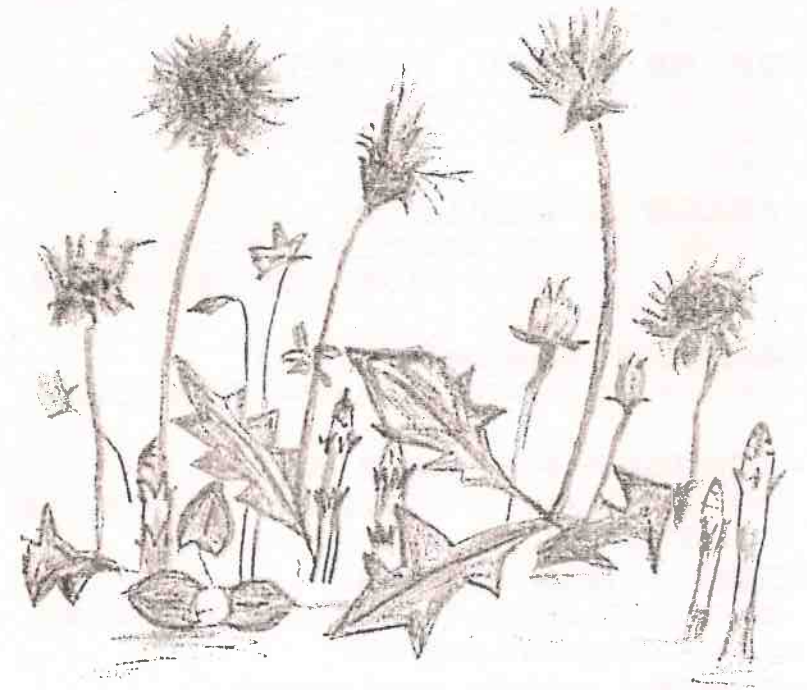


ふれあい 雪谷



平成15年
さくら号



(池の台 K. Oさんの作品)

母校の思い出 ⑬



小池小学校に入学したのは昭和16年、小学校が国民学校に名が変わった時であり、大東亜戦争（第二次世界大戦）が始まった年である。

校門を入った右側に奉安殿（教育勅語が納められている）があり、朝礼の度に教頭が恭しく運び、皇居の方角に向かい教育勅語が読まれた。

戦争が激しくなり、外国の言語・歌等は禁止され、軍歌が持てはやされ、統制が厳しくなっていた。

☆欲しがりません勝つまでは… 等々

東京も空襲を受けるようになり灯火管制（明かりが漏れないように窓に黒い紙を貼ったり、電球の回りを黒く塗ったり）、食糧・物資が不足し、配給制になっていった。

男性はほとんど戦場に駆り出され、残る女性と子どもに疎開するようにとの通達により第二次（1945. 5）疎開で（1年生～6年生）親元を離れ富山へ行くこととなり3つの寺に分宿した。お寺の後ろは山で正面は見渡す限りの田んぼで遥か彼方に富山湾を望む、その本堂での共同生活が始まった。

穀倉地帯でありながら疎開児は食糧難で主食は芋とか豆の入ったそうすいでひもじい生活であり、田植えをしてお米を作ったり、山へ薪を拾いに行ったり、炭焼き小屋へ炭を取りに行ったり、田んぼでいなごを取ったりかえるや蛇を捕まえて食べたりもした。

地元の学校の教室を借りたが、地元の児童のお弁当（白米）を盗み食いして追い出され、各寺での勉強となった。8月に終戦で10月帰郷となり、焼け野原と化した東京に帰ったが久しぶりのわが家が狭く感じ、校舎もなく焼け跡の片付けなどで卒業を迎えた。今考えると豪雪地帯であり冬を過ごしていたらどうなっていたことが。

(東中 K. Y)

サークル紹介 ②

上池上ときわクラブ俳句部

昭和五十四年発足以来延々と続いている俳句（さんご樹会）も、故人となった方々や高齢化と共に人数が減り淋しくなりました。私は俳句を始めてから十年余になります。当時は初心者として片隅で胸をドキドキさせながら夢中で過ごしたものでした。

年数は重ねてもいっとうに上達しませんが、俳句を通して自分なりに左記のようなことに気づいたことは、とても大きな収穫であったと思われまふ。

・自然の移ろいの中に、少しすつ何となく風情を見出せる感性が芽生え始めた。
・感動をそのままが俳句になり難く

しく考えないほうがよい。

・忘れかけた文字や言葉は字引を引いて確かめるくせがつく。

・机上であれこれひねるより戸外に出て多くの物に触れありのままを表現した方がよい。

・句友とのコミュニケーションにより、自分が高められる。

※俳句は誰にでもできます。優しい先生がやさしく教えてくださいます。どうぞ気軽にお出かけください。（見学も可）

期日：毎月第三金曜日
時間：一時～四時
場所：ゆうゆうクラブ仲池上（上池上 A.H）

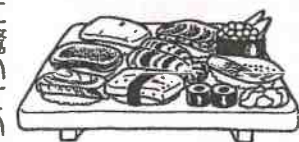


私の健康法 ①

私は大正四年の七月七日生まれ。今年の七夕がくれば満八十八才、米寿を迎えることになりました。現在も一日数十人前の寿司を握り、バリバリの現役として頑張っています。

私は東京は下町、深川の生まれで生粋の江戸っ子！三田の慶応大学前にあった「松の寿司」にて修行し二十六才の時小石川に店を構えました。しかし、戦争がひどくなり当時まだ田園風景の広がる雪谷に疎開して来ました。そして昭和二十年、同地に「寿司平」を開店させました。終戦直後の米不足によりさつま芋と米を混ぜたシャリや、お客さまが持参した米で寿司を握ったこともありましたが、

皆様に美味しい寿司を召し上がって頂きたい一心で毎日一生懸命働いてきました。そしてふと気が付くとすでにこの年になっている自分に驚いています。長きに渡って現役で働く私の健康の秘訣は、若いお客さまとの楽しい会話、小さいグラス一杯のビール、そして定休日には必ず外出し自分のペースで毎日を楽しむことでしょうか。



これから地域の皆様や家族に支えられながら百才になっても寿司を握り続けられるよう頑張りたいと思っています。

(東雪 二本松 平八)

「編集後記」

いよいよ春らん漫、桜見物に行きましよう！今回は近隣の桜の名所を、ご案内させていただきましました。春風にさそわれて、ご家族や親しい仲間や友達と、お弁当持参で出かけませんか。気分もすっきり、健康的に一日がすごせると思います。この度、洗足池駅にも、最新式のエレベーターが新設されました。

(池の台 岡野 喜代子)

〔発行〕わがまち大田雪谷地区推進委員会
〔編集〕ふれあい雪谷編集委員会
連絡先 雪谷特別出張所
大田区東雪谷四一三一二三
電話 三七二九一五二七
〔発行日〕平成十五年四月一日
通巻第五十号

桜の名所案内

風に舞う桜の花びら。春が来たことを実感できる時季ですね。大田区内及び横浜方面の桜の名所の一部をご紹介します。

*多摩川台公園（東急目黒線多摩川駅徒歩5分）

多摩川に沿って川岸の丘陵を彩る台地、自然樹林の中、古墳群・植物園があり、彼方に富士・箱根の連山を一望することができます。桜は約300本。

*洗足池公園（東急池上線洗足池駅正面）

広々とした洗足池とそれを取り囲む、ケヤキや桜など樹林を中心に、樹間を縫うようにして園路がめぐらされている。勝海舟の墓、西郷南州の碑などが建ち、池の奥は緩く盛り上がった小高い丘[桜山]。桜は約500本。

*南馬込桜並木[馬込文士村]（JR大森駅ーバス臼田坂上）桜がそろそろ満開を迎える4月上旬の日曜に、大桜祭りのイベントを開催。踊りや模擬店も繰り出し、大勢の人で賑わう。桜は約500本。

*本門寺公園（東急池上線池上駅徒歩15分）

丘陵地に武蔵野の面影を残す自然林、「ナラ・ケヤキ・アカマツ・サクラ」の大本で囲まれている。本門寺の中の散策路などがあり公園は変化に富み、自然探査から、明るい広場で運動まで楽しめる。桜は約1500本。

*鎌倉・段葛「だんかざら」（JR鎌倉駅徒歩3分）

鶴岡八幡宮の表参道で、二の鳥居から三の鳥居までの中央の一段高い歩道。桜並木が続く、桜は約400本。4月～5月のツツジも美しい。

*衣笠山公園（JR衣笠駅徒歩7分）

日本の桜名所100選に選ばれた三浦半島随一の桜の名所で、ソメイヨシノを中心に約2000本。公園からは東京湾を一望でき、その景観はみごと。

*富岡総合公園（東急線富岡駅徒歩10分）

樹齢50年以上の桜並木で桜は約240本。夜桜見物もできる。

*大岡川フロンナード（JR横浜駅徒歩10分）

川の兩岸に植えられたソメイヨシノは6km、約700本。川面に浮かぶ花びらも美しい。

*三溪園（JR横浜駅ーバス三溪園）

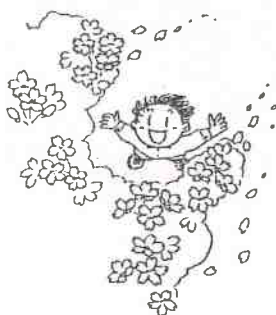
横浜の代表的な、庭園として四季折々の自然の景観の中楽しめる。約500本の桜はすばらしい。

*三ツ池公園（JR鶴見駅ーバス三ツ池公園）

三つの池を取り囲む緑豊かな自然を満喫できる公園。35品種、約1200本を超える桜を楽しむ。キンクロハジロなどのカモ類を始めとする野鳥に出会えるかも。

今年は皆さん郊外のお花見に、ちょっと足を延ばしてみませんか。

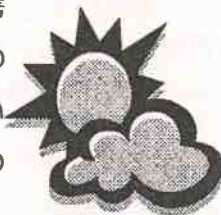
（小池 山下 雅巳）



美しい環境づくり⑦

先日ある大学教授の話として、今のまま東京ベイサイドに高層ビルが林立していくと、東京湾からの風を遮る壁となって都内の風通しが悪くなり、平均気温がますます上がってしまうという話を聞きました。東京の夏の平均気温の上昇傾向をみると、次に起きる事は水が蒸発していくという事が考えられます。そして、その結果、草木が少なくなり、最終的には砂漠化が頭に浮かびます。

世界でも環境に関する話題が多い時代になってまいりました。最近も、山がくずれ、土石流の発生による被害の話や、欧州での大水害、アメリカ、カナダの大干ばつと気象異変がいろいろと報道されています。気温と水は生産食糧につながり、生活の基本問題に直結しています。



ずいぶん昔になるとと思いますが、地球の温暖化にともない南極の氷がとけるという話から、水位が上がり、陸が海水に没する時が来るという話題を初めて聞いた時、環境問題というテーマは全世界の人類が将来の問題として、真剣に取り組まなければいけないことを再確認いたしました。最近にいたっては世界サミットも開かれ、世界の人々も真面目にこの問題に取り組むようになりました。

さてそれではちょっとお話を身の回りに近づけてみましょう。家族や家庭にとって、生活環境は最も大切な問題であります。

現代社会は個々に自己責任を持ってルールを守り、生活することを原則として毎日を過ごしていると思います。ご存知のとおり、電気・ガス・水道からはじまり、行政・教育・医療のどれもが大切なもので、道路・交通・警備等は日頃気にもならないことですが、どれも不可欠なものなのです。まして、快適で清潔な生活を送るためには、ゴミの問題も考えて暮らしていかななくてはなりません。

我が町を、住みよい自慢の町にするのも良くなるのも、まず皆様方1人1人の心掛けから始まるのだと思います。



（小池 菅田 洋一）

自治会リレー随筆

増えたマンション



この東雪谷に来て以来、もう20年余になります。当時は勤務のため忙しく、夜半に帰宅する毎日。まわりに何があるやら全く知りませんでした。とうとう自分の時間を作るために退職し、それからです。

夏は盆踊り、9月には祭みこし、暮には火の用心の拍子木の音。ホッとして感謝の気持ちが湧きました。初めてその地域にいたることを感じて。

マンションの5階から見える3分の2は空で、はるかに見える箱根連山の向こうには、真っ白い姿の富士山がくっきりとあり、夜には満天の星空が美しく広がって大好きな星座を眺める日々。また、三両編成のかわいい姿で、池上線の電車がいきかうのも見えたのです。

ところでいかがでしょう、ここ5～6年の変わり様。富士山の姿はマンションのアンテナに串刺しになり、奥の部屋からのみ見えるものの、すぐ横にまた12階建てが建って、空が半分くらいさえぎられてしまいました。見えていた電車も音だけになり、建物のはざまに通りすぎる明かりがキラキラとするだけ。

また一年余り前から大型スーパーも出来たので、地元の商店には、今後配達サービス等を考え出して欲しいと思います。

20世紀から21世紀へ移る境目を体験した私たち。世は移り変わっていくと知る者ですが、ただなかなか意識がついていけない。今マンションに住んでいる人たちもやがては年を取り、落ち着いて周りを見まわすでしょう、私のように。

当地の発展のためには、新しい住民、それは外国人も含めて若い多様な考え方が必要なのだと。それは楽しい温かい環境づくりかも一。私も今、皆様の貴重な体験をまとめたり、朗読の会を主宰する等、奉仕しています。介護状態になるまえの予防のために。

（石川台 山野辺 慶子）



俳句

母と友 思い出浮かぶ 桜かな

芽ふきたる 柳揺れつつ 池に映え

（東雪 山本 初江）

短歌

上からも 下から見ても 春がすみ

花もあがりて 心和ます

（小池 須藤 美津子）



この情報誌は古紙70%の用紙を使用しています。